

借家請狀之事

- 一 此おきよと申もの慥成者ニ付此度御貸家
借受私幾年も受人ニ相立申上候所
実正明白ニ御座候、此者宗旨^者代々禪宗
法藏寺旦那^ニ紛れ無御座候、則目代所^江
寺手形差出し置申候事
- 一 從御公儀様被為仰出候御法度之
趣、猶又諸事御触之趣相守可申上候事
人宿人寄并^ニ不審成者立宿^{ニ而茂}仕
中間敷事
- 一 他所より親類参り候共早速其所之目代
所^江相伺、其上宿貸し可申候事
火之元常々無油断入念心附、且又
水遣ひ等之儀^茂被仰聞候通り相守
可申上候事
- 一 日用入用之節^者何時^ニても相勤可申候
仮令他家^江罷越シ居申候坎無扨儀^ニ付
外方^江罷出候之及儀定候共御入用次第
可相勤候、若又当分相煩ひ候節^者慥成ル
替り之者差出し可申候事
- 一 不時有之候節^者何方へ参り居候共駆附
罷歸り御用相務可申上候事
- 一 御貸家御入用之節^者何時^ニても明渡し
可申上候、若此已後如何様之義出来仕候共
私共罷出急度埒明少しも御難義懸ケ中間敷候
且又家明渡し候様被仰付候節^者外^ニ存
当り之借家無御座候共受人方へ引取早速
明渡し可申上候事
- 一 勝手^ニ付外方へ宅替仕候共板敷等迄御改
受、其上明渡し可申上候事
- 一 家賃之儀^者御義定通り毎月晦日正錢ヲ以
無間違差上可申上候、若又壺ケ月^ニても及
遲滞候得^者受人より急度相弁皆済可仕候事
右之條々堅相守可申上候、為後日之
貸家請狀一札仍^而如件

嘉永四年

亥六月日

借受

喜左衛門（印）

居主

おきよ（印）

請人

元右衛門（印）

大谷九右衛門様

御家守衆中